



中村良子氏

【プロフィール】  
伊勢赤十字病院手術室師長  
(手術看護認定看護師1期生)  
日本手術看護学会東海地区幹事

——新しくなった伊勢赤十字病院手術室の魅力を教えてください。

——手術室勤務になった経緯は？  
実は、手術室は全く希望ではなかったのです。新入職で配属が決まり、毎日「異動したい…」と思っていました。でも、患者さんが「手術」と

——昨年、新築移転されましたね。救急を一日も止めずに移転したので本当に大変でした。移転当日に新病院で緊急手術をしていましたから(笑)とにかく必死の稼働でしたが、3ヶ月ほど経った頃

「あ、もう平常」と感じる日が来きたときはうれしかったです。  
——新しくなった伊勢赤十字病院手術室の魅力

認定看護師

## インタビューリレー〈第3回〉

### 手術室看護師の活躍の場を、もっと広げていきたい

——月並みですが、看護師を目指したきっかけは何ですか？

進学の際に、あまり迷わず「これだ」と選択しました。人とのコミュニケーションが好きで、やりがいや自立できる職業なら看護師だと思っただけです。

——今年、新築移転されましたね。救急を一日も止めずに移転したので本当に大変でした。移転当日に新病院で緊急手術をしていましたから(笑)とにかく必死の稼働でしたが、3ヶ月ほど経った頃

——治療を選択し、この治療を支える手術室看護師の役割の重大さに気付いた事と、手術を通じて臨床医学と身近に接する事は、看護師としてとても強みになるのではないかと思います。

——手術室ならではのやりがいは何処ですか？  
手術という場面では、患者さん一人に対し、最低2人の看護師が担当し、執刀医、麻酔科医、コメディカルなどがチームとなり、最良の医療を提供します。ところが他の看護の現場では、看護師1人が複数の患者さんを担当するので、1人1人に100%の力を注ぐ事は物理的に困難です。でも、手術看護は、それが出来るんですね。私も、他部門に配属になった時に、初めて気付きました。患者さん一人一人と、全力で手

とにかく様々な現場の要望が叶った職場です。手術室は16室あり、術中MRI装置を備えました。最先端の設備はもちろん魅力ですが、広々とした通路やバックヤードの様々な工夫、大きな窓を設け、中庭の植栽や青空が臨めるのが自慢です。特に朝は陽光が入り込みとても明るく、清々しい気分ですスタートできます。

——手術室ならではのやりがいは何処ですか？  
手術という場面では、患者さん一人に対し、最低2人の看護師が担当し、執刀医、麻酔科医、コメディカルなどがチームとなり、最良の医療を提供します。ところが他の看護の現場では、看護師1人が複数の患者さんを担当するので、1人1人に100%の力を注ぐ事は物理的に困難です。でも、手術看護は、それが出来るんですね。私も、他部門に配属になった時に、初めて気付きました。患者さん一人一人と、全力で手

——手術室ならではのやりがいは何処ですか？  
手術という場面では、患者さん一人に対し、最低2人の看護師が担当し、執刀医、麻酔科医、コメディカルなどがチームとなり、最良の医療を提供します。ところが他の看護の現場では、看護師1人が複数の患者さんを担当するので、1人1人に100%の力を注ぐ事は物理的に困難です。でも、手術看護は、それが出来るんですね。私も、他部門に配属になった時に、初めて気付きました。患者さん一人一人と、全力で手

——今後の夢はなんですか？  
急性期病院において周術期における手術室看護師の役割はもっと拡大していくと思います。いずれは「術前外来」を開設し、手術室看護師で運営してみたいですね。(聞き手：陶守)

——新しくなった伊勢赤十字病院手術室の魅力を教えてください。